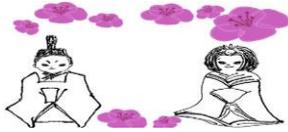




# 茶の香だより



## 「地域と共に歩む第五中学校」

校長 榎戸 千代子

学校運営協議会委員の皆様には、地域の代表として本校のコミュニティ・スクールに関わっていただき、学校だけではできない様々な教育活動を支えていただいております。

今年度もコロナ禍で、例年どおりの活動はできませんでした。しかし、学習部では3年生進路模擬面接で委員の皆さんに面接官をお願いし、進路のサポートをしていただきました。生活部では、感染状況を見ながらできる時期に防犯パトロールや校庭の芝刈りを実施しました。委員の皆さんだけでなく、PTAや地域の皆さんにも御協力をいただきました。地域連携部では、地域人材や職場体験場所等のサポートをお願いしています。今年度も五中フェスティバルは、2、3年生を対象に講師の皆さんに御指導いただき、貴重な体験ができました。また、2年生では職場体験の代わりに「プロから学ぶ会」を昨年度同様に実施しました。快くお引き受けいただいた講師の皆さん、ありがとうございました。改めて学校運営協議会委員の皆さんの御尽力と保護者、地域の皆さんの御理解、御協力に感謝申し上げます。来年度も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 「支えられて」

副校長 二階堂 裕文

第五中学校に赴任し、1年が経とうとしています。わからないことが多い中、いろいろな皆さんに助けていただいた1年でした。その中でも、五中は地域に支えられている学校だということを感じる一年でした。特に、「運動会」、「プロから学ぶ会」、「五中フェスティバル」などで御協力いただきました。その中心となっているのが、学校運営協議会の方々です。これからも生徒たちの笑顔と健全育成のために御尽力いただくと助かります。よろしくお願いいたします。

## 「早いもので…。」

学校運営協議会 会長 宮崎 保

日頃より、第五中学校学校運営協議会の活動に、御理解・御協力を賜り、誠にありがとうございます。

今年度から、会長に就任してから早いもので、一年が過ぎようとしています。コロナ禍での学校行事等が滞りなく行えたことは、教員、PTA、委員、地域の皆様のおかげだと思っております。この場を借りて、感謝申し上げます。

会長の任期は、あと一年残っていますが、今年度以上に学校運営を皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

～「茶の香だより」から「コロナ」という文字がなくなることを、切に願っております。～



「今年度を振り返って」

地域連携部会長 堀上 みち子

今年度は感染状況も少しずつ落ち着いて行事も昨年より行うことができ良かったと思います。この三年間コロナ禍で過ごした生徒さんたちですが、五中フェスティバルやプロから学ぶ会などで拝見すると、色々なことが制限されてきた中でも前向きに取り組む姿が印象的でした。決して恵まれた状況ではなかったかもしれませんが、行われる行事に、大切に真剣に臨む気持ちは、今後にも活かされることと思います。今年度もご協力頂きました皆様に感謝致します。

「ご挨拶」

生活部会長 加園 一茂

今年度は少しずつですが、防犯パトロールを再開することが出来ました。来年度も引き続き五中校区の安全・安心の為、活動していきたいと思っております。関係者の皆様に置かれましてはご協力の程宜しくお願い申し上げます。

さて3月の終わりに、数年ぶりに学校運営協議会委員と先生方で、校内廊下のペンキ塗りを予定しております。新学期、生徒達には綺麗になった学舎で大いに学んでもらいたいです。来年度こそコロナ禍を乗り越え、学校生活に当たり前の日常が戻りますように。

「今年度を振り返って」

学習部会長 高橋 圭子

学習部は、三本柱である、夏季補習講座学習サポート、進路面接練習、そして茶の香だよりを、今年度も無事に実施をさせていただきました。

学習部の事業は、学校の教職員の方々や保護者の皆様、そして生徒さん。地域からの御理解、御協力、連携なくして成立しない活動です。

感謝の念でいっぱいです。一つ一つの積み重ねを、今後もより良きものにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

## 12月に実施されました三年生対象の進路面接練習において、学校運営協議会委員からの ♪感想のお声を伺いました♪

「思いを伝える大切さ」

玉井 博子

12月上旬に行われた進路面接練習の面接官として参加させて頂きました。極度の緊張から言葉に詰まる生徒や涙する生徒、思いを熱く語る生徒と個性豊かでしたが、皆共通して言える事は自分に素直に向き合い、自身の言葉で伝えようとする姿でした。こちら側も緊張感でいっぱいでしたが、生徒達と言葉を交わすたびに、思いを相手に伝える大切さを改めて学ぶ事が出来た貴重な体験になりました。

「模擬面接を終えて」

西川 義則

毎年12月の恒例事業となった進路模擬面接。本年度も五中学校運営協議会、学習部の企画により行われました。地元保護司会のご協力により、本校学校運営協議会委員を含め15名の地域の方々にご尽力頂きました。

緊張して入室して来る三学年の子供達に私達まで緊張感が伝わってしまいます。経験のしたことの無い緊張感で面接後に泣き出してしまおう子もいます。しかしいつも思うのですが、私たち大人の方が教えられる事が多い様に思います、面接されているのは私の方じゃないかって。

ここ数年、推薦入試による合格者が増えてきているとのこと。私たちもちょっとだけ子供達の未来に貢献できた事を誇りに思います。

### ●むさしむらやまの昔話●

今回は皆さんが毎日お世話になっている制服の話です。男子は紺色のブレザーとネクタイ、チェックのズボン。女子は紺色ブレザーと大きなリボン、チェックのスカート又はズボン。とても清潔でステキな制服です♪移動教室や合唱コン等、様々な場面で武蔵村山市五中生としての意識をもたせ、大きな目印ともなります。この馴染みのある制服は今から12年前の2011年4月入学する生徒から今の形に変更されました。

以前は1980年に開校された時からずっと同じ形の男女共に濃い青色のブレザー、男子は同じ色のズボンとエンジ色のネクタイ。女子はたくさんひだのあるスカートに丸襟ブラウス、エンジ色の細いリボンというものでした。ずいぶん大きく変わりました。

制服は毎日の通学や生活、行事や受験の時だけでなく皆さんの身を守る役割をもち自らの中学時代の大切な思い出となります。市内や電車内で五中生の制服に遭遇して中学生時代を懐かしく思う卒業生がたくさん居る事と思いますので、大事にしてください

【武蔵村山市30周年周年行事委員より聞き取りにて】